

## 【その他】 ニューヨークにおける日本の伝統素材を用いたファッションコンテスト(米国)

開催日: 令和4年10月8日

場所: ジャパン・ビレッジ(ブルックリン)

主催(共催): 在ニューヨーク総領事館、(一社)SAKURA COLLECTION、ジャパン・ビレッジ

協力/参加企業・自治体: ANA、ジャノメ・アメリカ、Mt.Fujiレストラン、伝統素材の輸出業者等

在ニューヨーク総領事館

### 【概要】

- 世界8か国8名のプロデザイナーが10種類の日本の伝統素材を使用して製作し多国籍ダンスグループがモデルを務めたファッションパフォーマンスショーと、在米若手デザイナー10組が尾州再生ウールを使用したファッションデザインコンテストの2部構成で実施。
- 尺八・三味線・地元DJのコラボ演奏やアートのライブパフォーマンス、伝統素材等の紹介販売フェアも実施。
- 目的は日本の伝統産業支援、商品開発、海外認知度の向上、若手デザイナー育成、米国市場開拓等。
- 森NY総領事(大使)、エレーン・ファンNY州知事室アジア担当局長、アンドリュー・キンボルNY市経済開発公社CEOが挨拶。レセプションにはNY州下院議員も参加。
- 審査員には増田セバスチャン氏(アーティスト)、レジーナ・カルラヴァーロ氏(ジャノメ・アメリカ)、齋藤統氏(元イッセイミヤケ欧州・元ヨージヤマモト欧州社長)を起用。

### 【結果】

- ショーは約300名の観客席が満席。立ち見も多数。フェアへの来場者は3日間でのべ約500名。参加デザインへの事前WEB投票では全世界から約12万票を集め、公式SNSは合計約9万回閲覧された。日本経済新聞、Yahoo!Newsや業界紙含め4紙に掲載。
- 実際に日本の伝統素材を使用したファッションの購入への動きにも繋がり商品開発や販路開拓を促進できた。
- 地元のデザイン系大学から学生ボランティアスタッフを受け入れ、米国の若いタレントに日本の文化や伝統素材の価値の理解を増進する機会にもできた。
- 当日の動画は日本の地方伝統素材の生産者に広く共有され「デジタル田園都市構想」にも貢献できた。
- 総じて、海外の事業者とオープン・イノベーションに取り組み商品企画を行うことや、海外マーケットに直接接続して顧客創出・需要拡大を行う事例を示すことができた。

